

(1) 教育長報告

年月日	曜	時刻	行事名	場所
21/10/25	月	14:00	教育委員会定例会	都南分庁舎 大会議室
		16:00	久保盛岡教育事務所長来訪	都南分庁舎 教育長室
21/10/26	火	11:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
		13:00	【市議会】臨時会	本庁舎 議場
21/10/27	水	13:00	河南中学校公開	河南中学校
21/10/28	木			
21/10/29	金			
21/10/30	土	14:00	【中止】R3盛岡市教育振興運動地区別集会(第Ⅱ地区)	西部公民館
21/10/31	日			
21/11/01	月	10:00	令和3年度盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員等研修会	サンセール盛岡1階 大ホール
		13:15	令和3年度「いわて教育の日」のつどい(盛岡教育事務所管内市町教育委員会教育委員研修会)	岩手県民会館 中ホール
21/11/02	火	庁議 終了後	令和3年度第2回環境基本計画推進委員会	本庁舎 403会議室(自席にて参加)
21/11/03	水	10:00	市勢振興功労者表彰式	中央公民館 講堂
21/11/04	木	10:30	第3回盛岡教育事務所管内教育長会議	洪民公民館 大会議室
		13:30	第2回盛岡教育事務所管内公立小・中学校校長会議(挨拶)	洪民文化会館 姫神ホール
21/11/05	金	14:00	令和3年度第1回盛岡市総合計画審議会	中央公民館 講堂
21/11/06	土	10:00	【中止】R3盛岡市教育振興運動地区別集会(第Ⅶ地区)	洪民文化会館 姫神ホール
		13:15	原敬100回忌記念のつどい	盛岡市民文化ホール 大ホール
21/11/07	日	10:00	【中止】R3盛岡市教育振興運動地区別集会(第Ⅳ地区)	松園地区公民館
21/11/08	月	13:30	【書面開催】【協議会】岩手県国公立幼稚園・こども園協議会及び岩手県国公立幼稚園こども園PTA連絡協議会との懇談会	都南分庁舎 教育委員会室
		16:45	市長表敬訪問/下小路中学校女子駅伝部(県大会優勝・全国大会出場)	本庁舎 402会議室
		17:00	市長表敬訪問/藤澤清美氏(地域文化功労者表彰受賞)	本庁舎 市長応接室
21/11/09	火	13:00	第4回市内校長・園長会議	都南分庁舎 研修室
		16:00	総合教育会議	本庁舎 403会議室
21/11/10	水			
21/11/11	木	10:15	山岸小学校公開	山岸小学校
		13:50	原敬記念館訪問	原敬記念館
21/11/12	金	9:50	市教委学校訪問③	飯岡中学校
		13:00	【協議会】令和3年度岩手県教職員表彰式(祝辞)	岩手県民会館 大ホール
		15:00	岩手育英会寄付金感謝状贈呈式	都南分庁舎 教育長室
21/11/13	土			
21/11/14	日			
21/11/15	月	14:00	市長表敬訪問/外柳是分氏(囲碁第46期新人王獲得)	本庁舎 市長応接室
21/11/16	火	13:30	岩手県学校教育ICT推進協議会(令和3年度第2回)	サンセール盛岡 1階大ホール
		15:15	県教育委員会と市町村教育委員会との意見交換②	サンセール盛岡 1階大ホール
21/11/17	水	10:00	【協議会】第2回岩手県いじめ問題対策連絡協議会	岩手県水産会館 5階大会議室

年月日	曜	時刻	行事名	場所
21/11/18	木	14:00	【書面開催】キャリア教育推進協議会(挨拶)	都南分庁舎 大会議室
		13:30	【協議会】岩手県学校給食会第2回理事会	岩手県学校給食会3階第一研修室
21/11/19	金	11:30	盛岡市文化振興事業団専務理事来訪	都南分庁舎 教育長室
21/11/20	土	9:15	岩手県中学校新人大会バレーボール競技視察	タカヤアリーナ
		17:00	盛岡市PTA連合会年次表彰式(祝辞)	サンセール盛岡
21/11/21	日			
21/11/22	月			
21/11/23	火		【勤労感謝の日】	
21/11/24	水	13:00	【市議会】全員協議会	本庁舎 委員会室
21/11/25	木			本庁舎 402会議室
21/11/26	金			
21/11/27	土			
21/11/28	日			
21/11/29	月	13:00	【市議会】臨時会	本庁舎 議場
21/11/30	火	14:00	教育委員会定例会	遺跡の学び館 研修室

(2) 専決処分の報告について

1 報告の趣旨

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により専決処分したのについて、同条第2項の規定により10月市議会臨時会及び11月市議会臨時会に報告事項として提出したので、報告するものである。

2 専決処分の内容

- (1) 下記の工事について、一部設計変更に伴い、契約金額を専決処分により変更したものである。
- ア 盛岡市立大新小学校校舎大規模改修（機械設備）工事（10月市議会臨時会 報告第110号）
 - イ 盛岡市立大新小学校校舎大規模改修（電気設備）工事（10月市議会臨時会 報告第111号）
 - ウ 盛岡市立仁王小学校校舎大規模改修（機械設備）工事（11月市議会臨時会 報告第118号）
 - エ 盛岡市立仁王小学校校舎大規模改修（電気設備）工事（11月市議会臨時会 報告第119号）
- (2) 令和3年7月6日、盛岡市中ノ橋通二丁目地内の商業施設駐車場で業務を行うために市有移動図書館車を移動中、車体上部スピーカーが商業施設の看板に接触し、看板を損傷した損害賠償事件に係る損害賠償の額を定めたものである。（10月市議会臨時会 報告第113号）

3 報告書

別紙のとおり

報告第110号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和 3 年10月26日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
盛岡市立大新小学校校舎大規模改修（機械設備）工事	契約金額「 222, 572, 900円」を「 223, 749, 900円」に改める。	令和 3 年10月 8 日

報告第111号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和 3 年10月26日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
盛岡市立大新小学校校舎大規模改修（電気設備）工事	契約金額「 226, 188, 600円」を「 227, 839, 700円」に改める。	令和 3 年10月 8 日

報告第118号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和 3 年11月29日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
盛岡市立仁王小学校校舎大規模改修（機械設備）工事	契約金額「 272, 137, 800 円」を「 269, 890, 500 円」に改める。	令和 3 年11月 8 日

報告第119号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第 2 項の規定により報告する。

令和 3 年11月29日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

下記工事の一部設計変更に伴う契約の変更について、地方自治法（昭和22年法律第67号）第 180条第 1 項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第 2 条第 8 号の規定により、専決処分する。

工 事 件 名	変 更 内 容	専決処分年月日
盛岡市立仁王小学校校舎大規模改修（電気設備）工事	契約金額「 266,860,000 円」を「 267,841,200 円」に改める。	令和 3 年11月 8 日

報告第113号

専決処分の報告について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項の規定により次のとおり専決処分したから、同条第2項の規定により報告する。

令和3年10月26日提出

盛岡市長 谷 藤 裕 明

専決処分書

損害賠償事件に係る損害賠償の額を定めることについて、地方自治法（昭和22年法律第67号）第180条第1項及び盛岡市長専決条例（昭和23年条例第42号）第2条第9号の規定により、次のとおり専決処分する。

令和3年10月12日

盛岡市長 谷 藤 裕 明

損害賠償事件に係る損害賠償の額を定めることについて

次のとおり損害賠償事件に係る損害賠償の額を定める。

- 1 損害賠償の相手方 住所
氏名
- 2 損害賠償の額 金 231,000円也
- 3 損害賠償の原因

令和3年7月6日、盛岡市中ノ橋通二丁目地内の商業施設駐車場で業務を行うために市有移動図書館車を移動中、車体上部スピーカーが商業施設の看板に接触し、看板を損傷したことになる。

(3) 令和3年度第2回盛岡市社会教育委員会議の概要について

- 1 日 時 令和3年11月12日(金) 午後1時30分から3時10分まで
2 場 所 都南分庁舎 4階大会議室
3 出席者 社会教育委員18名, 教育部長, 教育次長, 生涯学習課長, 生涯学習課長補佐, 歴史文化課長, 中央公民館長, 市立図書館長, 区界高原少年自然の家所長, 市民協働推進課長外1名, 生涯学習課7名

[オブザーバー出席] 公益財団法人盛岡市文化振興事業団事務局次長, もりおか歴史文化館活性化グループ総括責任者, 盛岡サイエンスグループ子ども科学館長, 第一商事株式会社見前南地区公民館長

4 内 容

(1) 報告

- ア 「石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館整備事業」の経過について
イ 令和4年「盛岡市成人のつどい」の開催について

(2) 議事

- ア 令和4年度社会教育行政の基本方針と重点施策について
イ 令和4年度文化財行政の基本方針と主要施策について
ウ 令和4年度社会教育関係団体への補助金交付予定について
エ 第3次もりおか子どもの読書活動推進計画について
オ 社会教育・文化財行政への提言について

5 主な意見

No	質問意見等	回答
1	【啄木記念館, 玉山歴史民俗資料館整備】 歴史民俗資料館について, 入口から一番奥に展示室が配置されているが, 手前に配置すべきではないか。	渡り廊下と多目的スペースから, 開放的に旧渋民尋常小学校等が見える配置としたため, 展示室が奥側となったものである。可能な部分では変更の検討をする。 (歴史文化課)
2	【啄木記念館, 玉山歴史民俗資料館整備】 特別収蔵庫はカビ対策として, 収蔵品が直接壁に接しない造りとなっているか。	特別収蔵庫は床と壁が特殊な造りとなっており, 対策が施されている。 (歴史文化課)
3	【令和4年成人のつどいの開催】 臨席を依頼する来賓の範囲は。	感染防止対策として, 来賓は市議会議長のみとさせていただきます。 (生涯学習課)
4	【(仮称)南部公民館整備】 (仮称)南部公民館整備の床面積は西部公民館と比べて同じ程度か。	西部公民館の延床面積が4,399㎡に対して, (仮称)南部公民館は1,500㎡程度を予定している。地区公民館の見前南は750㎡である。 (生涯学習課)

5	<p>【盛岡城跡保存整備】</p> <p>盛岡城跡の電柱を地中化できないものか。また、啄木歌碑の周辺を寝転べるような草地にできないものか。</p>	<p>盛岡城跡は公園ということで、担当部の都市整備部が無電柱化を検討している。歌碑周囲の草地化についても協議していく。</p> <p>(歴史文化課)</p>
6	<p>【無形民俗文化財保存連絡協議会】</p> <p>補助金を出している活動団体が昨年度から5団体も減少したのはなぜか。また、補助金以外の支援策はあるのか。</p>	<p>継承者の高齢化や後継者不足で活動が休止となったものである。活動が再開したら補助も再開する。民俗芸能を絶やさないための映像記録にも取り組んでいる。</p> <p>(歴史文化課)</p>
7	<p>【第3次子どもの読書活動推進計画】</p> <p>学校司書が配置されている小中学校の割合は、兼務を含めどのくらいか</p>	<p>令和3年度で小中学校30校に11名の配置となっている。1名が2～3校兼務している。</p> <p>(生涯学習課)</p>
8	<p>【第3次子どもの読書活動推進計画】</p> <p>学校の年間新規購入費は現状でどのくらいか。以前は国庫補助もあった。</p>	<p>図書購入費について、小学校は全体で1,310万円、学級割や児童数割により1校当たり31万円程度、中学校では全体で1,069万円、1校当たり46万円程度となっている。</p> <p>(生涯学習課)</p>
9	<p>【第3次子どもの読書活動推進計画】</p> <p>家庭教育情報通信「はぐ便り」が、見やすく内容も良い。全世帯配布をしていないのか。</p>	<p>全世帯配布はしていないが、市のホームページへ掲載している。各会議などでもアピールして発信、周知していきたい。</p> <p>(生涯学習課)</p>
10	<p>【社会教育・文化財行政への提言】</p> <p>高齢者の利便性のため、外履きのままで地区公民館利用できるようにしてほしい。</p>	<p>提言につき回答は次回の社会教育委員会議で回答</p>
11	<p>【社会教育・文化財行政への提言】</p> <p>無形民俗文化財の伝承が、コロナ禍もあり益々困難になってきた。映像記録のほか、指導者が直接指導する機会も設けてほしい。</p>	<p>提言につき回答は次回の社会教育委員会議で回答</p>
12	<p>【その他 子ども会育成会】</p> <p>コロナ禍で子ども会活動が低迷し、子どもや親たちが地域との関りを持てなくなったり、子どもの成長過程で大事な体験が失われている。昨年度から子ども会育成会研修会を開催しているが、子ども会の存在と意義を考え、今後も市に協力いただきたい。</p>	<p>要望につき回答なし</p>

(4) 令和4年「盛岡市成人のつどい」の開催について

1 趣旨

人生の節目である二十歳の式典を催すことにより、新成人の新しい門出を祝福するとともに、社会の一員になることを改めて認識させ、明日の盛岡市を支える市民としての自覚を喚起し、社会への参加意識を高める。

2 主催

盛岡市、盛岡市教育委員会、盛岡市成人のつどい実行委員会

3 日時

令和4年1月9日（日）午後2時開会（午後1時開場）

4 会場

盛岡タカヤアリーナ（盛岡市本宮五丁目4番1号 電話：658-1212）

5 参加対象者

市内在住又は過去に在住するなどの理由で、盛岡市成人のつどいに参加を希望するものであって、平成13年4月2日から平成14年4月1日までに生まれた者

【令和4年盛岡市成人のつどい対象者数】（令和3年6月1日時点）

区分	対象者数（前年度比）	（参考）前年度対象者数
男	1,384人（+15人）	1,369人
女	1,412人（+63人）	1,349人
計	2,796人（+78人）	2,718人

6 当日出席者数（見込み）

約2,000人（令和2年出席者数2,096人）

7 次第

(1) 記念式典（午後2時から2時30分まで）

- ・ 開式のことば 盛岡市成人のつどい実行委員長
- ・ 国歌斉唱 音楽（CD）
- ・ 盛岡市民歌斉唱 音楽（CD）
- ・ 新成人に贈ることば 盛岡市長
- ・ 励ましのことば 盛岡市議会議長
- ・ 成人の決意 新成人代表
- ・ 閉式のことば 盛岡市教育長

(2) アトラクション（午後2時30分から2時45分まで）

【実行委員会による企画・運営（VTR上映等） テーマ「懸橋(かけはし)」】

人との繋がりを橋に見立て、人々との繋がりを自らの力で広げ、大切にしてほしいという願い、また、世代間交流の橋渡しとして活躍し、ふるさと盛岡の良さを継承してほしいという願いを込めて、このテーマとした。

さらに、懸橋の「懸」という文字では、コロナ禍でも、めげずに一生懸命日々を生きていく新成人の心の強さと絆を表現している。

8 協力団体

岩手県立視聴覚障がい者情報センター、岩手手話通訳問題研究会県北班、盛岡市交通指導隊、盛岡市少年指導員連絡協議会、盛岡市青年団体連絡協議会、盛岡市PTA連合会、一般財団法人民族衣装文化普及協会

9 その他

- (1) 運営は、一般公募等による実行委員会（新成人）12人，市及び教育委員会の協力体制により進めるものとする。
- (2) 岩手県交通㈱の協力を得て，盛岡駅から会場までの臨時路線バスを運行し，出席者の利便性向上と自家用車での送迎等による周辺道路の混雑緩和を図ることとする。
- (3) 次の新型コロナウイルス感染防止対策を講じることとする。感染拡大状況により，開催内容等を変更する可能性がある。
 - ・式典等時間の短縮(例年60分→45分)
 - ・式典，アトラクションのオンデマンド配信
 - ・来賓等出席者の減
 - ・家族席なし
 - ・事前登録制＋入場券に連絡先電話番号を記入して持参
 - ・手指消毒，検温，マスク着用，座席間隔の確保

(5) (仮称) 南部公民館整備基本構想 (案) について

1 策定の趣旨

本市は、「盛岡市総合計画」及び「盛岡市教育振興基本計画」に「生涯学習の推進」を位置付け、誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図ることとしている。

このような中、生涯学習を推進する社会教育施設の中核をなす公民館のうち、唯一未整備となっている(仮称)南部公民館について、整備の方向性を定めようとするものである。

2 (仮称) 南部公民館の整備の必要性

- (1) 事業対象区域である本宮地区では、人口急増に伴う人間関係の希薄化など、地域づくりが課題となっている。
- (2) 生涯学習の推進のため、市民に等しく学ぶ場を提供する必要がある。
- (3) 本宮地区町内会連絡協議会を通じて、早期の整備実現が強く求められている。

3 整備基本構想 (案)

(1) 基本方針

施設運営に当たっては、地域特性に応じた機能の重点化を図り、様々な目的を持った人の受け皿となる空間づくりを心掛け、公民館としての機能を最大限に発揮し、地域住民の生涯学習及び地域拠点施設となるよう、次の基本方針に基づき整備するものとする。

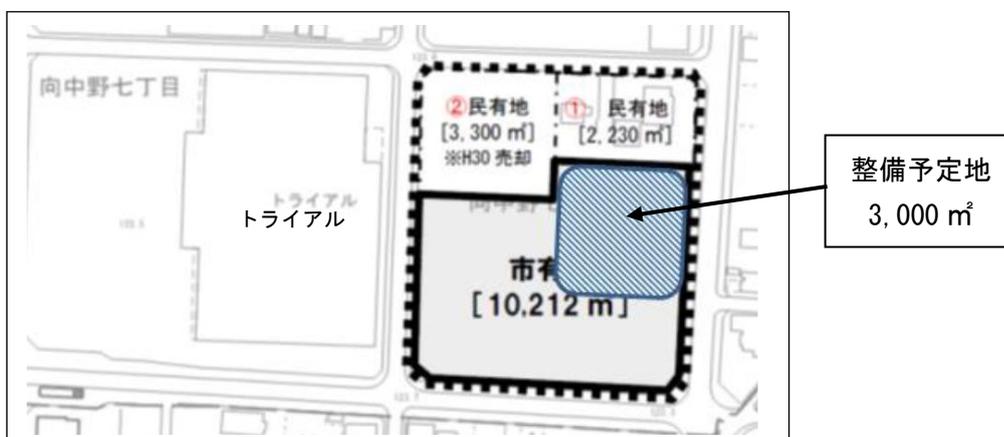
なお、「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」を踏まえ、施設規模の抑制と長期的な施設活用の視点を取り入れるものとする。

【基本方針】

- ア 社会教育及び生涯学習を推進する施設
- イ 地域づくりを支援する施設
- ウ 子育て世代にやさしい施設
- エ 地域住民を災害から守る施設
- オ 世代を超えて賑わう施設
- カ 省エネルギー、バリアフリーな施設

(2) 整備予定地

向中野七丁目 盛岡南新都市地内の流通業務施設用地 (通称 306 街区Eブロック内)



(3) 施設規模及び機能

ア 延べ床面積

約 1,500 m² (2階建て)

イ 施設構成

	主な利用設備	その他
2階	・ホール(2分割可) ・音楽室, 調理室, 多目的室(各1室)	・ラウンジ ・倉庫(2室), トイレ, 共用スペース(通路, 階段, EV)
1階	・オープンスペース ・多目的室(2室)	・事務室, おむつ交換授乳スペース ・倉庫・機械室・備蓄倉庫, 玄関・風除室, トイレ, 共用スペース(通路, 階段, EV) ・駐車場(55台), 駐輪場

(4) 概算事業費

約8億7千万円

*特定財源について, 以下の補助金活用を検討する。

○二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金

避難所機能を担う施設であり, 災害時にエネルギーが自立的に供給可能となるよう, 再生可能エネルギー設備や蓄電システム等の導入を検討する。

○林業・木材産業成長産業化促進対策交付金

「盛岡市木材利用推進方針」に基づき, 木質内装化等市産材の活用を検討する。

(5) 整備手法

施設の特徴, 事業規模, サウンディング型市場調査(オープン型, クローズ型の2回実施)の結果等から, PFI方式(民間資金等活用事業)は適さないと判断したところであるが, 公民連携の観点で, 従来方式と比較し, 民間事業者の創意工夫による事業費の軽減と工期の短縮が期待できることから, 設計施工一括発注方式を採用することとする。ただし, 特定財源として検討している補助金(二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金等)の活用が見込める場合は, 従来方式へ見直す可能性がある。

また, 民間収益施設との合築については, 敷地及び延べ床面積が限られている上, 駐車場運用や建物の管理区分, 修繕計画等のリスク分担の課題があること, 収益事業として, 商業的な民間ノウハウ以上に, 公民館事業との親和性や公益性が求められることから, 本事業へは不採用とした。

(6) 管理運営形態

指定管理者制度を採用することとする。

(7) 整備スケジュール(予定)

年 度	内 容
令和3年度	整備基本構想策定
令和4年度	地質調査, 基本設計, 先買地買戻し
令和5~6年度	実施設計, 建設工事, 関係条例等の整備, 指定管理者の募集・選定
令和7年度	供用開始

4 今後の予定

令和4年 2月 住民説明会

令和4年 3月 整備基本構想策定

(6) 市立図書館大規模改修事業について

1 趣旨

盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化計画中期計画に基づき実施中である図書館大規模改修事業に係る主な改修内容について説明するもの。

2 主な改修内容

市立図書館の改修に当たっては、公共施設保有最適化・長寿命化のための基本方針に基づきつつ、盛岡市図書館協議会や利用者アンケートなどで寄せられた御意見・御要望をできるだけ取り入れられるよう検討を行った。

具体の改修内容は、別紙1のとおり。

3 施設平面図

各階の改修前と改修後を比較した平面図は、別紙2・3のとおり。

4 令和3年度の今後の予定

- ・ R3年11月8日 庁議報告
- ・ R3年11月12日 盛岡市社会教育委員会議報告
- ・ R3年11月24日 市議会全員協議会報告
- ・ R4年2月 盛岡市図書館協議会報告
- ・ R4年2月末 実施設計図書及び展示設計図書の納品（設計業務委託完了）

5 大規模改修事業のスケジュール

年度	休館	大規模改修事業	休館中の図書サービス		
			移動図書館車サービスの拡充	臨時貸出窓口の設置	催事開催
R3	10月～	展示設計及び実施設計(5～2月)	(通常どおり)	正面玄関に設置	
		移転準備業務(10～3月)		(～3月)	
R4		引越業務(4～9月)	4月から拡充	上田公民館内	館外
		工事及び展示制作(10～9月)		(8月～)	
R5		引越, 開館準備(10～3月)		(12月閉鎖)	
R6		4月供用開始	(通常どおり)		

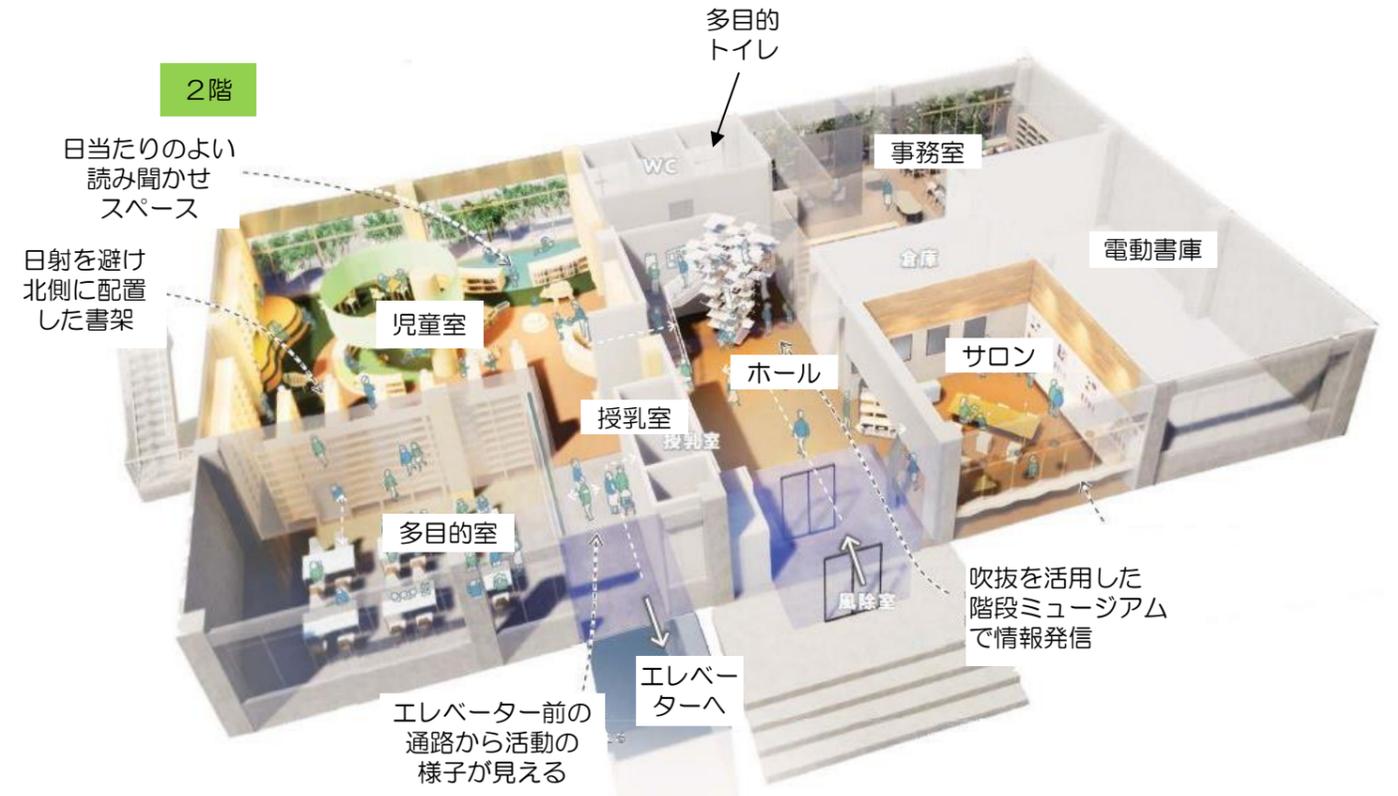
盛岡市立図書館 大規模改修事業の主な改修内容

- (1) 全館
 - ・ 駐車場側と高松の池側の二方向から乗り降りできるエレベーターを設置。
 - ・ 段差解消、車椅子が通行可能な幅に書架間隔拡大など、市民が利用する階のバリアフリー化。
 - ・ 2階と3階に多目的トイレを各1カ所設置。
 - ・ 木目調の書架の設置や暖色系のカーペットにより、館内を温かみのある空間に。
- (2) 1階
 - ・ ボイラー室を閉架書庫に転用。（収蔵可能冊数+約 22,000 冊）
 - ・ 駐車場側からエレベーターに乗れるようピロティにスロープを設置。
 - ・ 駐車場付近に返却ポストを増設。
- (3) 2階
 - ・ 新聞コーナーを市民交流や学習ができる飲食可能な「サロン」に変更。
 - ・ 児童室は楽しみながら本に親しめるよう模様替えし、面積を拡大。
(168 m²→198.87 m²)
 - ・ 集会室を多目的室とし、読み聞かせイベントから会議、学習まで幅広く利用可能に。
 - ・ 授乳室兼おむつ替えスペースを2部屋新設。
- (4) 3階
 - ・ 高松の池の眺望を活かしたカウンター席（14席）や半個室ブース（4席）、複数人で座れる席（12席）など、利用形態に応じた学習席を設置。
 - ・ 独立した郷土資料室に十分な図書資料数を確保。（約 23,000 冊）
 - ・ 利用者の課題解決を手助けする「テーマ書架」を設置。
テーマの例：子育て・教育、医療、介護・老人福祉、平和・人権、災害、環境、ジョブ
 - ・ 持ち込みパソコンが利用可能な席を拡充する。（1席→11席）
 - ・ 2階から3階への階段周りに、連続するギャラリーを設置し、季節展示等を展開。

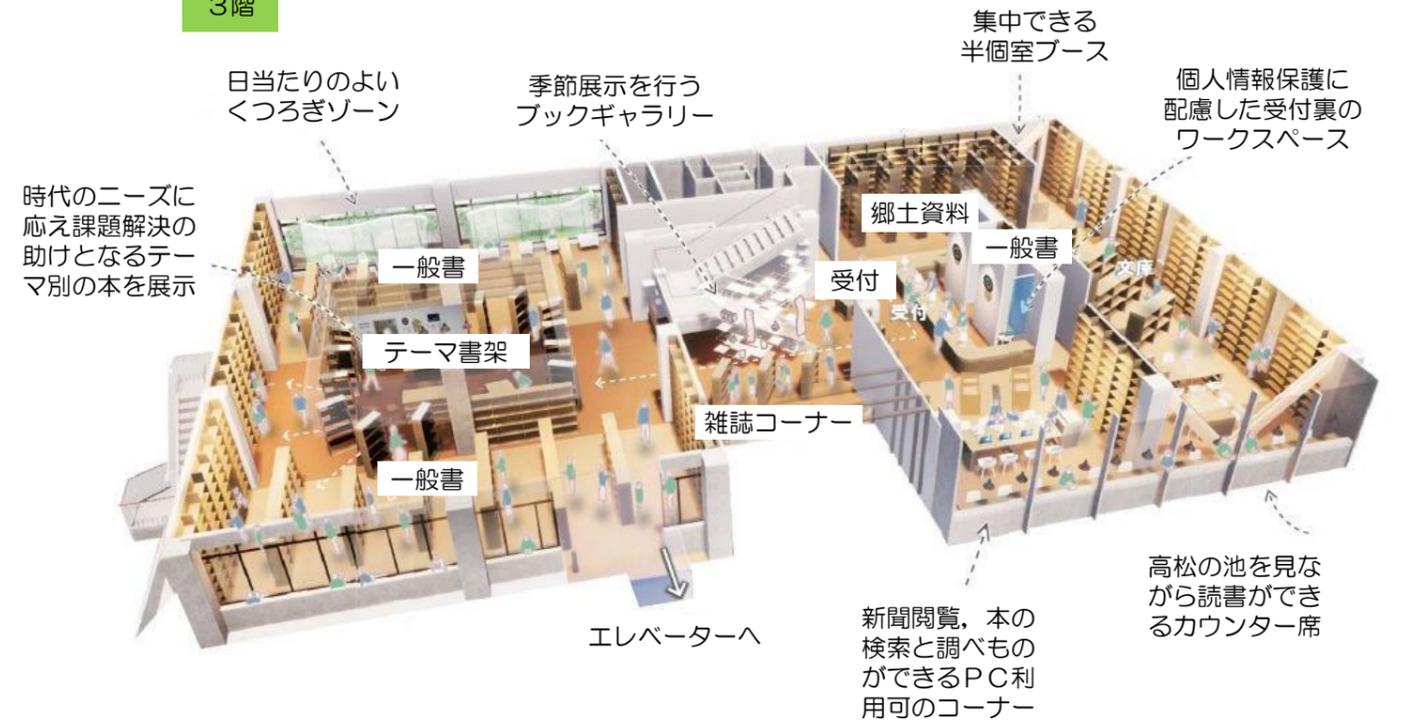
2階サロンのイメージ図（旧・新聞コーナー）



改修後のイメージ図（令和3年11月時点）

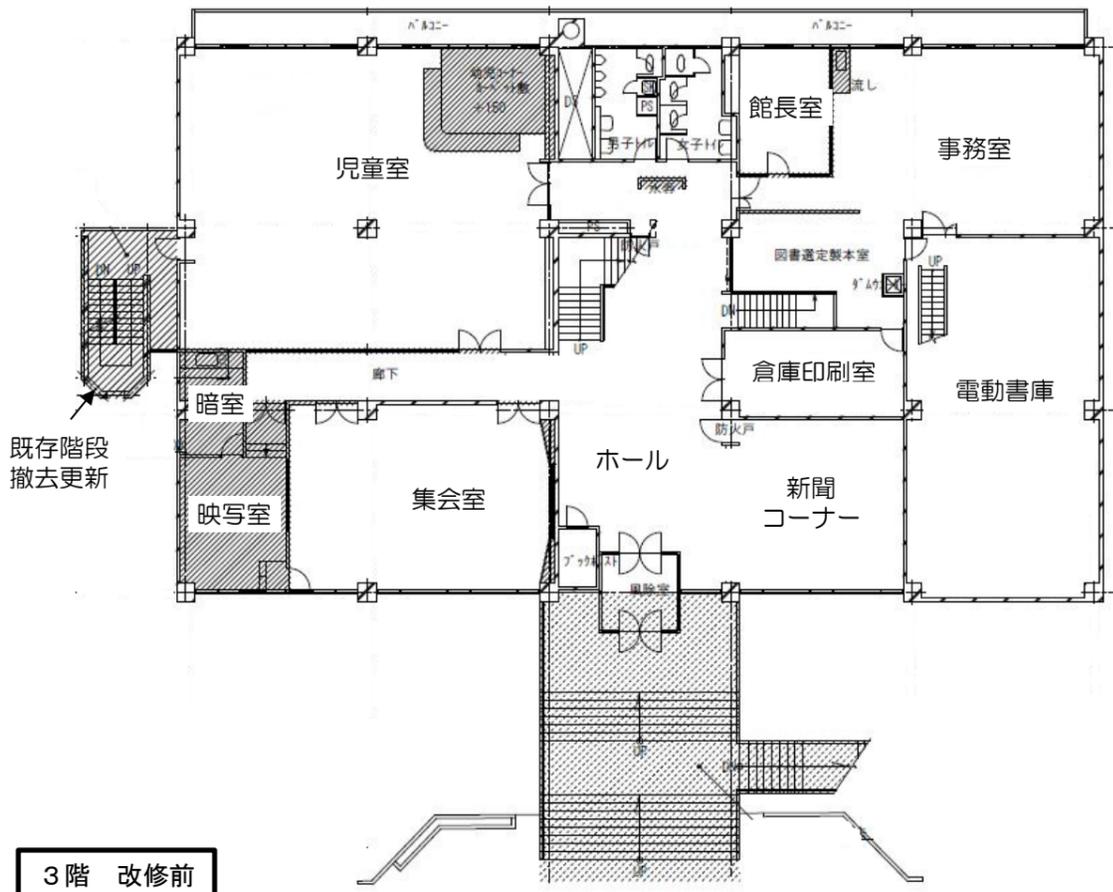


3階

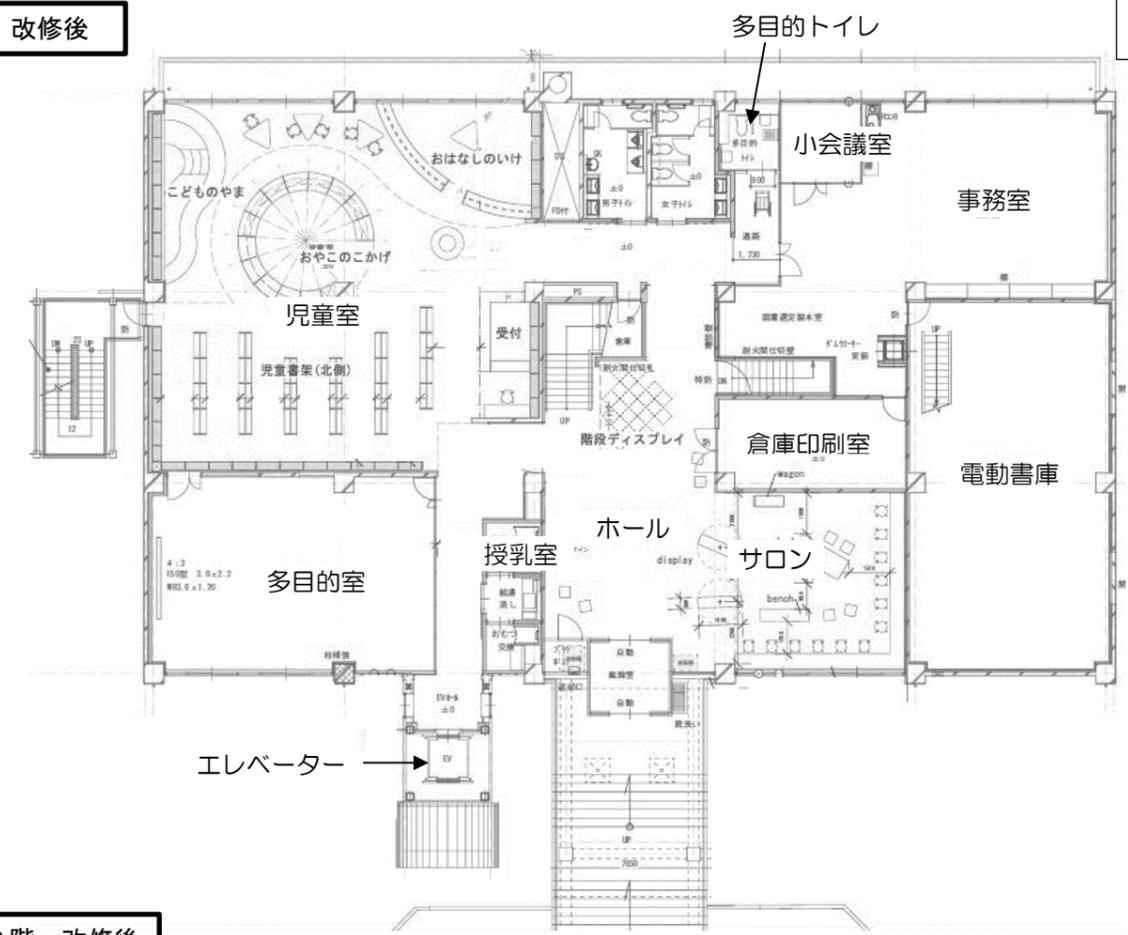


※令和3年10月28日時点。座席等の配置、仕様は変更になることがあります。

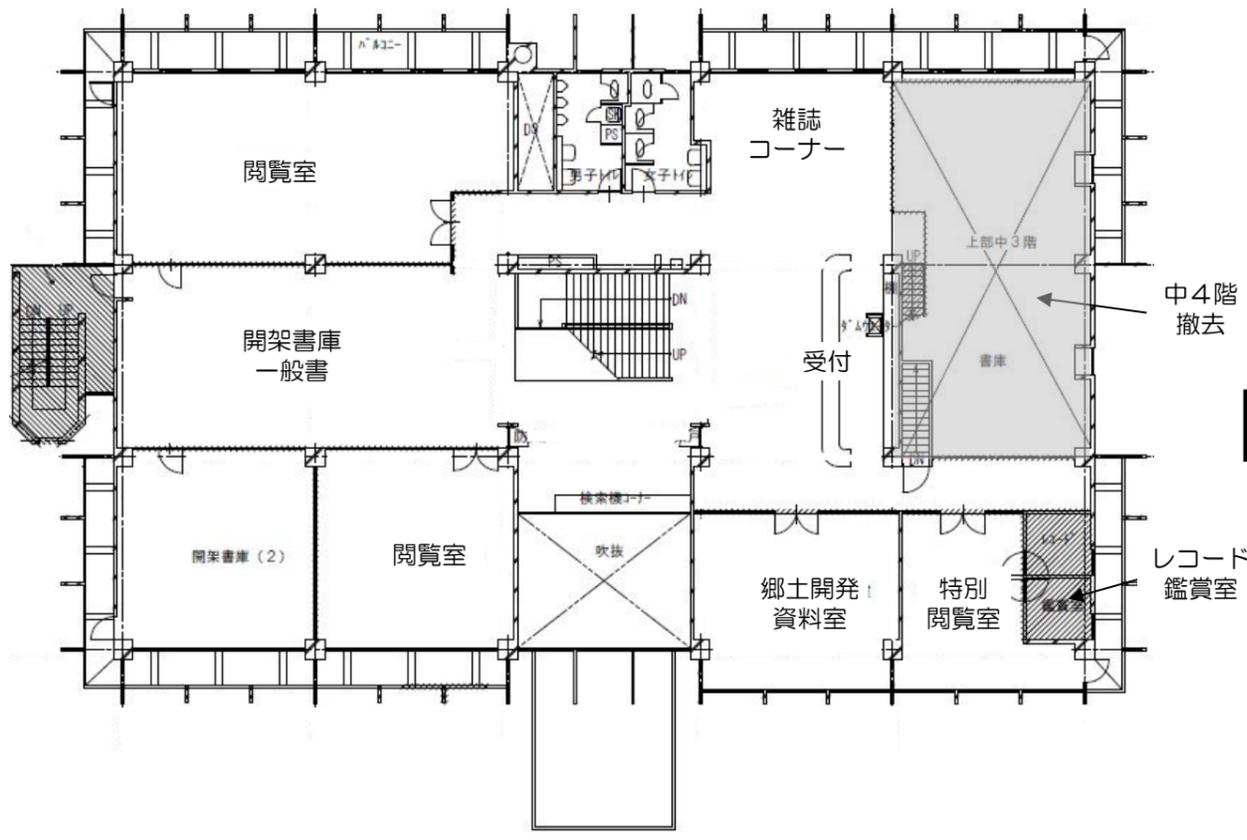
2階 改修前



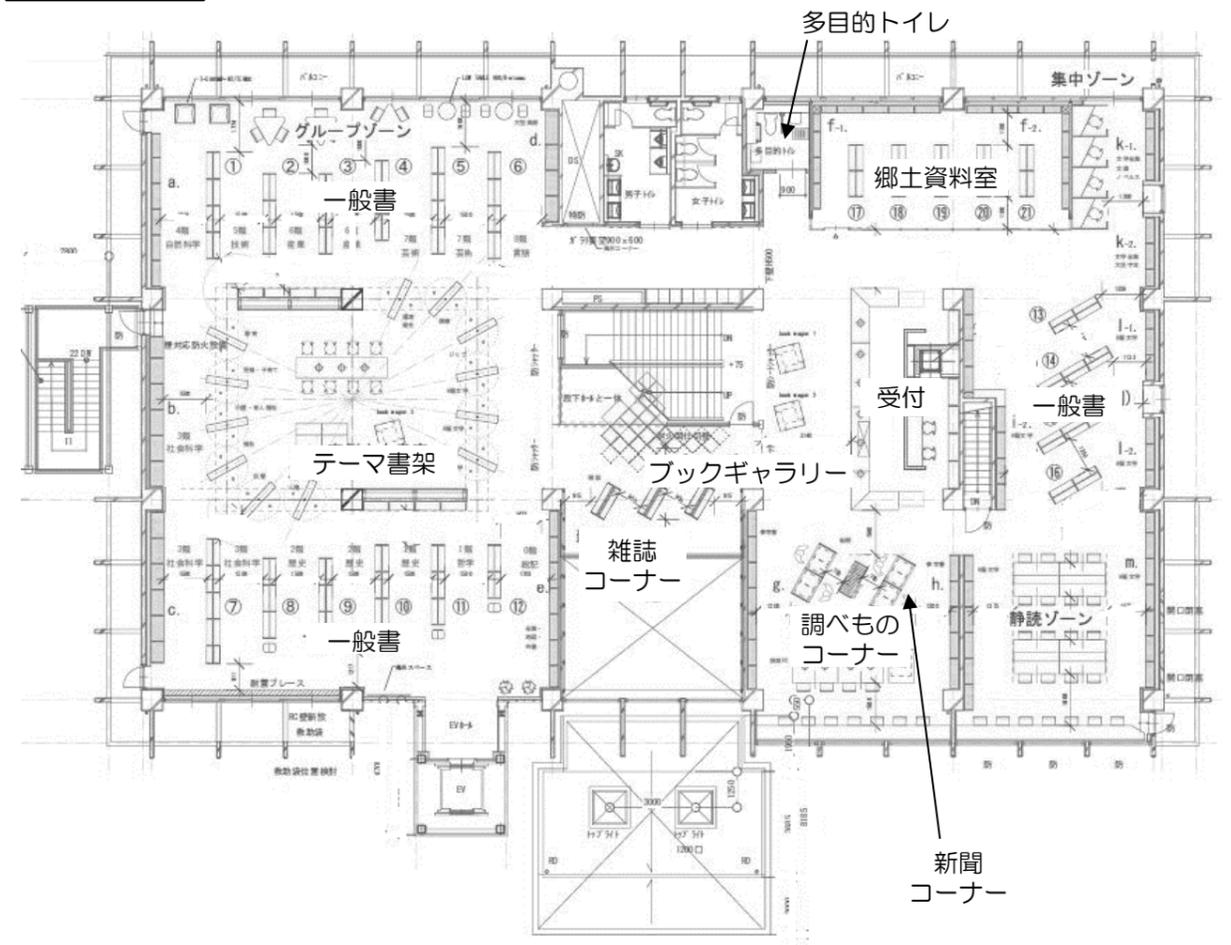
2階 改修後



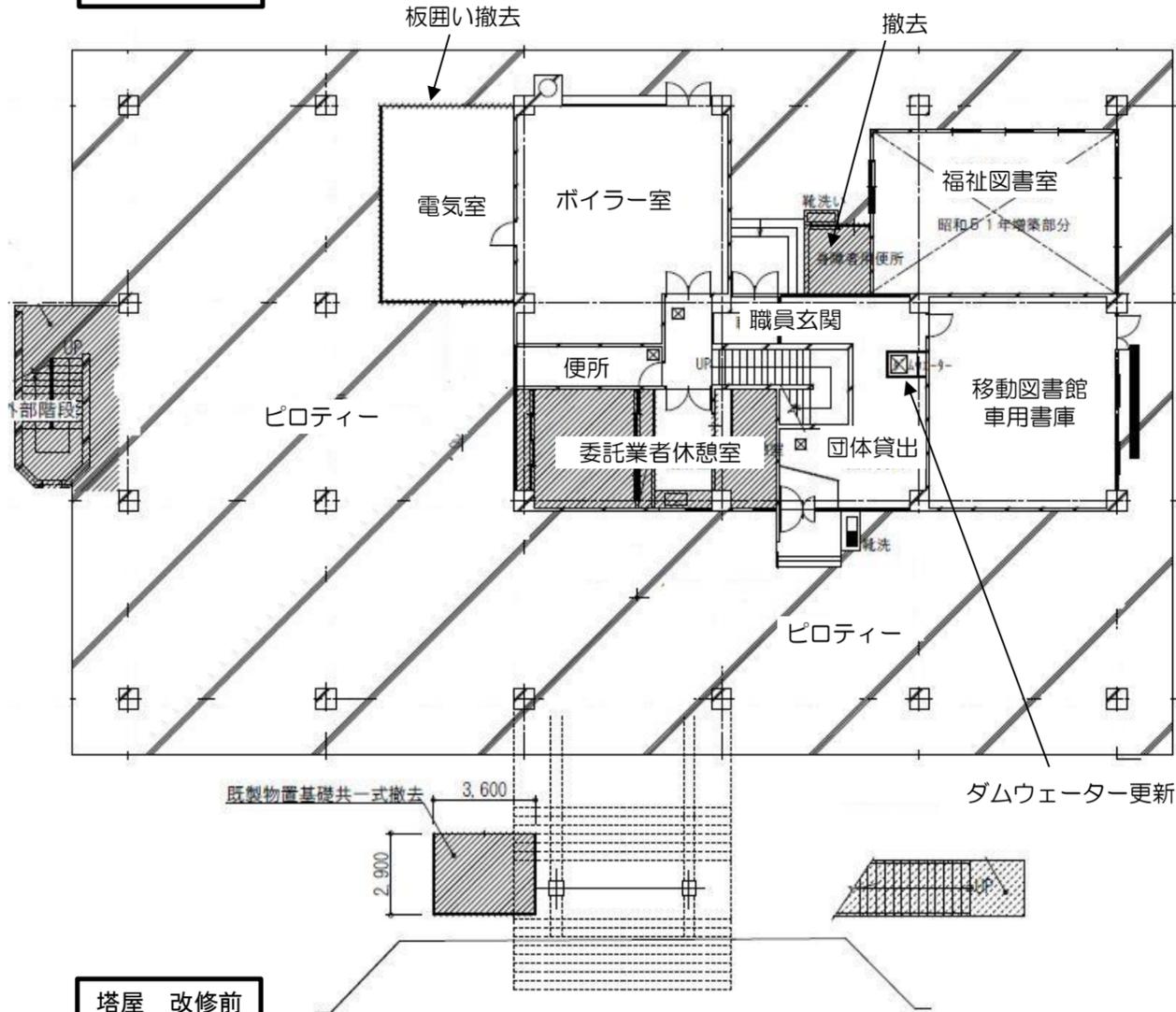
3階 改修前



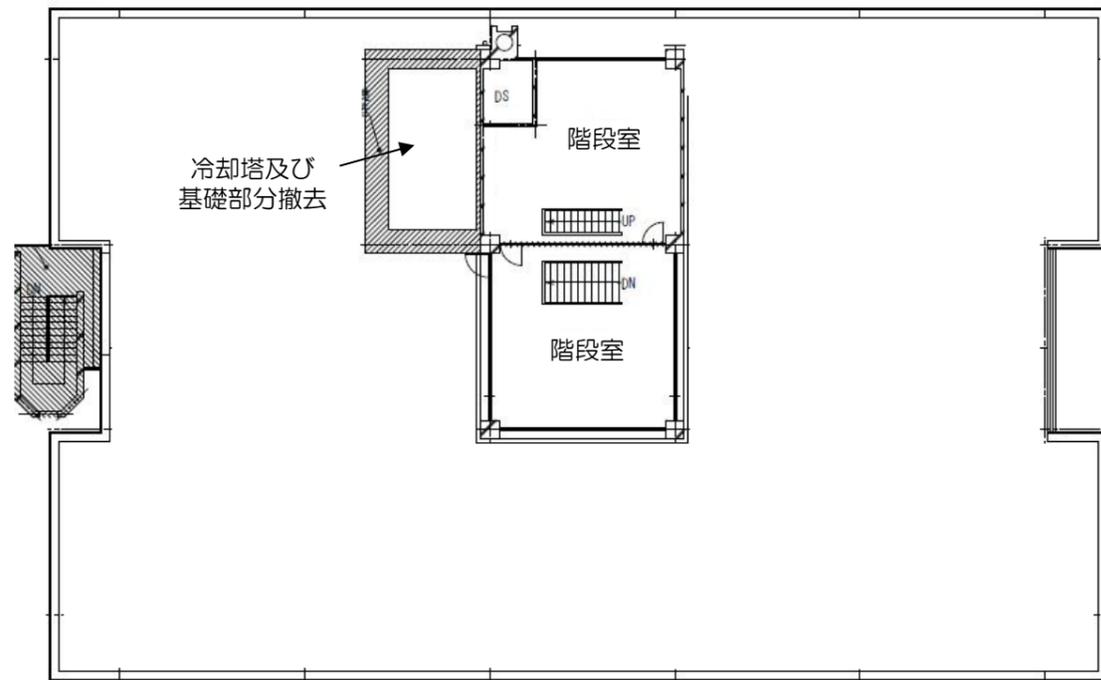
3階 改修後



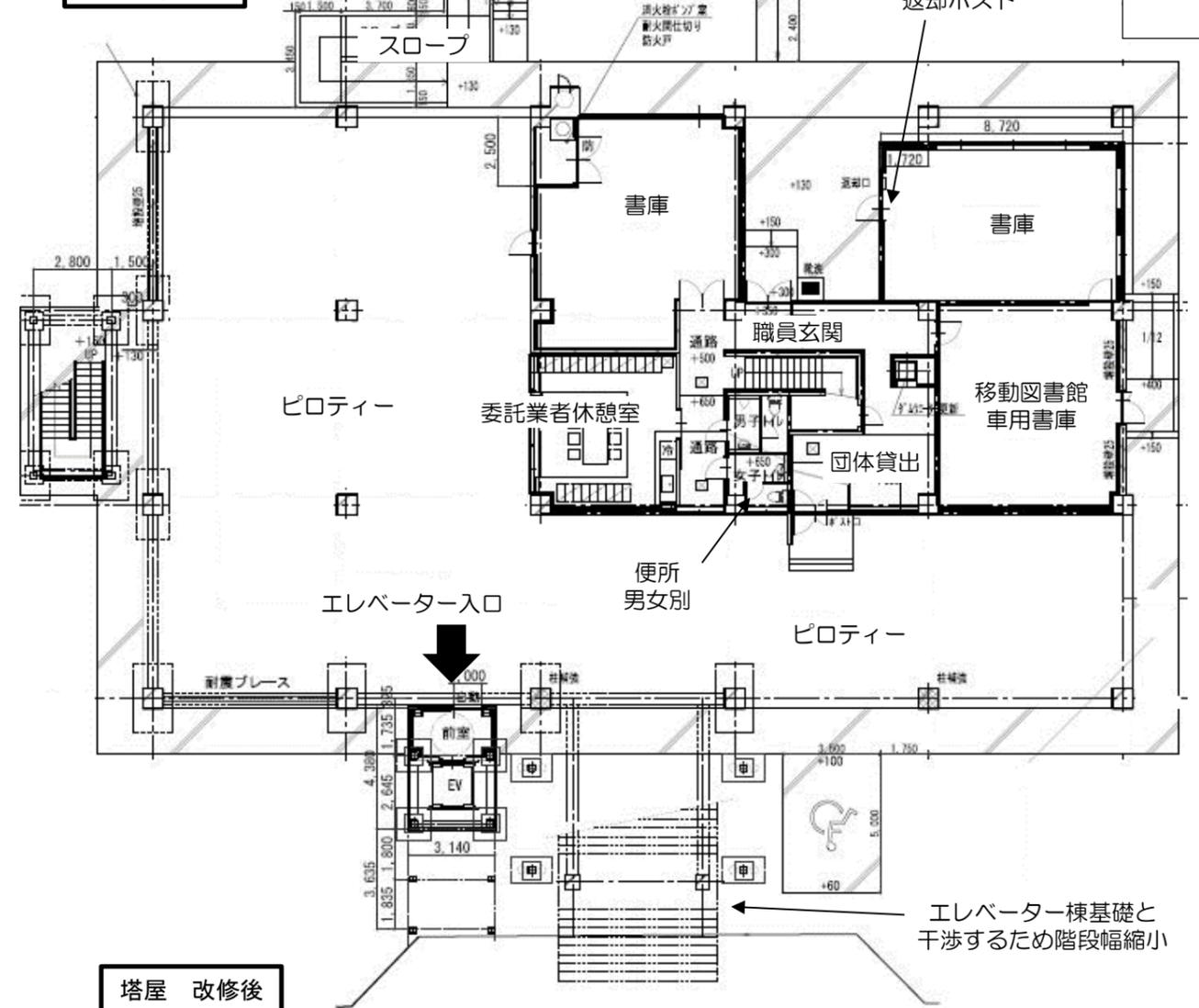
1階 改修前



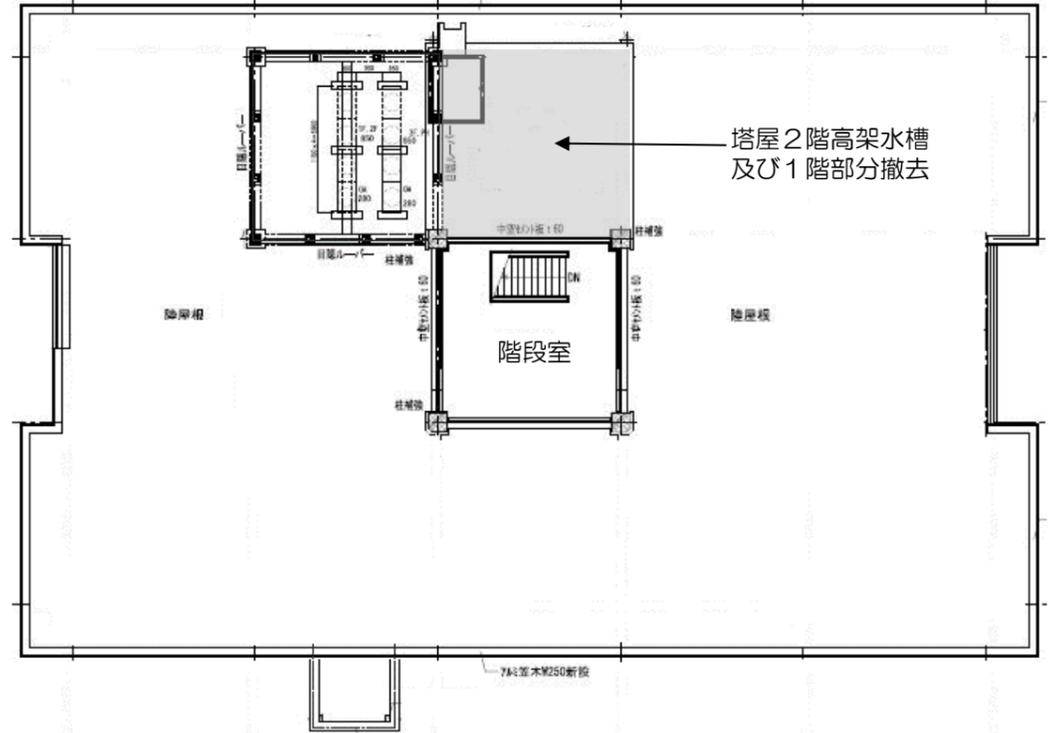
塔屋 改修前



1階 改修後



塔屋 改修後



議案第 21 号

令和 3 年度盛岡市教育委員会点検評価報告書について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第 162号）第26条の規定により，令和 2 年度に盛岡市教育委員会が実施した事務の管理及び執行の状況について，点検及び評価を行い，別紙のとおり報告書を作成するものとする。

令和 3 年11月30日提出

盛岡市教育委員会教育長 千 葉 仁 一

提案理由

教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について，点検及び評価を行い，その結果に関する報告書を作成しようとするものである。

令和3年度 行政評価結果

【第1巻 事後評価】

評価からはじめるまちづくり

令和3年12月

盛岡市

【施策評価(令和2年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	2	盛岡の魅力があふれるまちづくり
施策	11	歴史・文化の継承
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	岡市 和敏 教育部長	
評価シート作成者	川原 善弘 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
地域に受け継がれている歴史や文化に誇りを持ち、次世代に伝えていくため、文化財の保護に取り組むとともに、市民が歴史や文化に理解を深め、身近に感じることができるよう、文化財の幅広い活用を図る。	地域に受け継がれている歴史や文化に親しむこと、そして、それを次世代に継承することは、地域づくりにとって、大切なことであり、更に市民の関心が高まるよう、企画展やイベント等について、創意工夫、改善し、意識啓発を図る必要がある。 また、博物館等施設については、市民が関心を持ち訪れてみたいと思う魅力的な施設であり続けるよう、計画的に修繕・改修、整備を行う必要がある。 今後も、市民が地域の歴史や文化に興味を持ち、文化財の大切さを認識するとともに、施設の来館者の増加にもつながるよう、ソフト・ハード両面から、施策展開に努めたい。

施策の概要

主な取組内容
文化財の保護については、文化財の新たな指定を行うほか、指定となっている有形・無形の文化財の存続を図るとともに、無形民俗文化財保持団体への支援を行った。また、埋蔵文化財については、適切な調査・記録と保存・展示を行った。 博物館施設の整備・充実については、既存9施設の活用が図られるよう、手洗い、消毒、検温等の新型コロナウイルスの感染症対策の徹底とPR活動に取り組んだ。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	地域に受け継がれている歴史や文化への関心が高まる
文化財	地域に受け継がれている歴史や文化が保護、継承される

施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価				
指標①	文化財数(国・県・市指定)	単 位	目指す方向					
		件	↗	○ 順調に進捗している(令和6年度目標値は現状未達だが、6年度までには達成見込み)				
当初値(H25)	270	R1目標値	276	R6目標値	281			◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)
				<ul style="list-style-type: none"> ・民俗芸能では初めて、民謡の「外山節」を盛岡市指定無形民俗文化財に指定した。 ・既存の文化財等は、保護のための環境、保存整備や調査、保存維持への助成や、保存継承団体への育成支援、活用などに取り組み、存続することができた。 				
※H28実績値に誤りがあったため修正している								

実績値の推移				進捗の評価				
指標②	まちづくり評価アンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある」と答えた市民の割合	単 位	目指す方向					
		%	↗	◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)				
当初値(H25)	58.6	R1目標値	61.8	R6目標値	65.0			盛岡城跡保存整備事業や埋蔵文化財調査事業、博物館等での歴史・文化財を活用した事業等や現地説明会等の周知を市民に図り、市民に学習機会を提供したことで、まちづくりアンケート調査「盛岡の歴史・文化財に興味関心がある。」と答えた市民の割合が、3.2%上昇した。

進捗の評価(3段階): ◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)、○ 順調に進捗している(令和6年度目標値は現状未達だが、6年度までには達成見込み)、△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
11-1 文化財の保護と活用	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな文化財の指定を行うほか、指定となっている有形・無形の文化財等を存続できた。 ・有形の文化財等は、周辺環境も含め、適切な保存・修繕が難しくなっている。 ・無形民俗文化財は、深刻な後継者不足に直面している団体もあり、民俗芸能保持団体の特性に応じた対策が必要となっている。 ・埋蔵文化財の出土資料は、増え続け、従来の施設には収まりきれず、仮設の施設にも仮置きしている状況である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・有形文化財等の保存・修繕のため、町内会等地元住民への協力要請を行うとともに、必要に応じて、支援や助言を行う。 ・盛岡市歴史的風致維持向上計画等に基づき、補助制度を活用しながら、文化財の保護と活用に取り組む。 ・民俗芸能保持団体の後継者不足については、盛岡市無形民俗文化財保存連絡協議会と連携しながら支援策を講じる。 また、民俗芸能を紹介するPR動画を制作し、踊りの魅力を全世界に向け発信するほか、発表の機会を確保し、民俗芸能の周知を図る。 ・埋蔵文化財発掘の出土資料を、活用頻度等により再配置を行うとともに、空き教室等を利用するなど、収蔵場所の確保を図る。 ・未指定の文化財も含め、文化財をまちづくりに生かすつ、地域社会との協働でその承継にどのように取り組むか等を明らかにする「文化財保存活用地域計画」の策定に向けた協議・検討・調査を進める。
11-2 博物館等施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の博物館9施設は、新型コロナウイルス感染症の影響から、4施設で入館者数が、例年の半数以下となるなか、各施設では、活用が図られるよう、手洗い、消毒、検温の徹底等、感染症対策の徹底とPR活動に取り組んだ。 ・各博物館施設においては、老朽化が進行しており、バリアフリー化など利用者の安全性・利便性の向上を図る必要が生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館施設の活用が図られるよう、魅力あるイベント等を開催するほか、効果的なPR活動を行う。 ・博物館施設については、いずれも老朽化が進行していることから、改修等の必要性や緊急性を考慮し、利用者の安全確保及び利便性の向上が図られるよう、計画的に対応する。 ・「文化財保存活用地域計画」や「地域における文化観光の推進に関する法律」における地域計画等の策定に向け、博物館等施設での保存・活用のあり方を検討する。 ・石川啄木記念館・玉山歴史民俗資料館の整備については、施設の文化的景観の確保、来館者の利便性の向上、道の駅整備との連携等を図りながら、取り組む。

【施策評価(令和2年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	17	子どもの教育の充実
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	岡市 和敏 教育部長	
評価シート作成者	川原 善弘 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
子ども一人ひとりの個性をいかし、学力を定着させ、生きる力を育むことができるように、学校や家庭、地域などが連携しながら、子どもの教育の充実と健全な育成を図る。	盛岡市学校教育の目標を、「子どもたち一人一人に、自立して社会で生きていくための基礎を育む」とし、全市的な取組を総合的に進めており、一定の効果が出ているものと認識している。 成果指標としている小中学校の学力については、学力向上推進事業による授業改善等の取組により、全ての指標で全国水準を上回る傾向が維持されているが、体力運動能力については、令和2年度は調査が行われていないが、令和元年度調査において、全国水準から低下傾向の項目が見受けられる。 学力、体力運動能力とも、なお課題があることから、要因を分析し、取組方法を研究しながら、引き続き全市的な取組を展開していく必要がある。

施策の概要

主な取組内容
<p>教員の指導力向上のための取組を行い、児童生徒の学力向上を図るとともに、道徳教育・先人教育の充実などにより、豊かな心の育成を進めた。また、スクールアシスタント67名や不登校生徒等対策相談員15名を配置し、個別に配慮が必要な児童生徒への支援に取り組んだ。</p> <p>学校等の施設については、校舎の大規模改修工事、プール改修工事、及びトイレ改修工事を行ったほか、施設の適切な維持保全に努めた。</p>

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
小中学生	学力の向上が図られる。 心身ともに健全育成が図られる。
幼児	健やかな成長が図られる。
高校生	学力の向上が図られる。 生徒一人一人の希望に沿った進路の実現が図られる。
教員	誠実公正でかつ指導力が向上されている。
小中学校施設等	充実した教育環境に整備され、良好に保たれている。

施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価	
指標①	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:国語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)	
当初値(H25)	110.6	R1目標値	113.0	R6目標値	113.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「読むこと」領域の全国比が121であり、「話すこと・聞くこと」領域(119)、「書くこと」領域(116)及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域(111)でも全国平均を上回っているが、誤答率が5割以上である小問内容7項目のうち、3項目が「書くこと」領域の内容であり、目的や条件を踏まえて書く活動が不足しており、適切に表現する力が不足していると考えられる。</p>					
指標②	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【小学校4年生:算数】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)	
当初値(H25)	108.4	R1目標値	110.0	R6目標値	110.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「数量関係」領域の全国比が114であり、「数と計算」領域(111)、「量と測定」領域(104)及び「図形」領域(103)でも全国平均を上回っているが、誤答率が5割以上である小問内容4項目のうち、3項目が「図形」領域の内容であり、「関連付けて考える」学習活動の不足から、図形の性質や図形の作図の根拠の理解不足が考えられる。</p>					
指標③	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:国語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)	
当初値(H25)	103.8	R1目標値	107.0	R6目標値	107.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」の全国比が113であり、「書くこと」領域(108)、「読むこと」領域(102)及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域(112)でも全国平均を上回っているが、「読むこと」領域の「説明的な文章を読むこと」、「語句や表現技法についての理解」において、全国平均を下回っており、「言葉による味方・考え方」を働かせて言語活動を行うことが不足し、言葉の働きや文章構成等に着目した理解力が不足していると考えられる。</p>					
指標④	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:数学】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値は現状未達だが、6年度までには達成見込み)	
当初値(H25)	102.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「数と式」領域の全国比が112であり、「図形」領域(103)及び「資料の活用」領域(109)でも全国平均を上回っているが、「関数」領域の全国比が94で、全国平均を下回っており、「数学的な見方・考え方」を働かせて、論理的・統合的・発展的に考える機会や、表・式・グラフを関連させながら事象について考察したり表現したりする機会が不足していると考えられる。</p>					
指標⑤	小中学校学力検査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:英語】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)	
当初値(H25)	103.2	R1目標値	105.0	R6目標値	105.0
<p>数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域の全国比が110であり、「聞くこと」領域(104)、「話すこと」領域(105)及び「読むこと」領域(107)でも全国平均を上回っているが、「話すこと」領域の「テーマに沿ってスピーチする」、「読むこと」領域の「英文を正しく読み取る」において、全国平均を下回っており、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の全領域でバランスのとれた指導の継続が必要と考えられる。</p>					
指標⑥	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:男】	単位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)	
当初値(H25)	97.8	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0
<p>50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・長座体前屈・握力・上体そらしの8種目の調査結果(令和元年度)による。筋力(握力)が全国標準値を上回っている。全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られてきているが、全国との比較において低い結果となり、正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきていることや、登下校時の保護者による送り迎えが増えてきていることも要因の一つと考えられる。</p>					

実績値の推移				進捗の評価			
指標⑦	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【小学校5年生:女】	単 位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)			
当初値	25.0	100.5	R1目標値	101.0	R6目標値	101.0	
<p>・50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ソフトボール投げ・長座体前屈・握力・上体そらしの8種目の調査結果(令和元年度)による。 筋力(握力)、敏捷性(反復横とび)、瞬発力(立ち幅跳び)が全国標準値を上回っている。全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきていることや、登下校時の保護者による送り迎えが増えてきていることも要因の一つと考えられる。</p>							
指標⑧	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:男】	単 位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)			
当初値(H25)	100.4	100.4	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	
<p>50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・長座体前屈・握力・上体そらしの8種目の調査結果(令和元年度)による。 投力(ハンドボール投げ)が全国標準値を上回っている。全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、運動に対して、正しく身体を動かすことができない生徒が多いことが要因として考えられる。</p>							
指標⑨	体力運動能力調査の全国水準(100)との比較【中学校2年生:女】	単 位 ポイント	目指す方向 ↗	△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)			
当初値(H25)	100.2	100.2	R1目標値	102.0	R6目標値	102.0	
<p>50m走・20mシャトルラン・反復横跳び・立ち幅跳び・ハンドボール投げ・長座体前屈・握力・上体そらしの8種目の調査結果(令和元年度)による。 筋力(握力)、筋持久力(上体そらし)、柔軟性(長座体前屈)は、全国標準値を上回っている。全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、運動に対して、正しく身体を動かすことができない生徒が多いことが要因として考えられる。</p>							
指標⑩		単 位	目指す方向				
当初値(H25)				R1目標値		R6目標値	

進捗の評価(3段階):◎ 非常に順調に進捗している(令和6年度目標値を達成済)、○ 順調に進捗している(令和6年度目標値は現状未達だが、6年度までには達成見込み)、△ 遅れが生じている(令和6年度の目標値達成に努力を要する)

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策		成 果 点 ・ 問 題 点
17-1	小中学校教育の充実	<p>○学力</p> <p>1 小学校4年生</p> <p>盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透するとともに、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する児童が増加してきている。</p> <p>(1)国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「読むこと」領域の全国比が121であり、「話すこと・聞くこと」領域(119)、「書くこと」領域(116)及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域(111)でも全国平均を上回っているが、目標値を達成していない。 ・誤答率が5割以上である小問内容7項目のうち、3項目が「書くこと」領域の内容である。 <p>(2)算数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「数量関係」領域の全国比が114であり、「数と計算」領域(111)、「量と測定」領域(104)及び「図形」領域(103)でも全国平均を上回っているが、目標値を達成していない。 ・誤答率が5割以上である小問内容4項目のうち、3項目が「図形」領域の内容である。 <p>2 中学校2年生</p> <p>盛岡市学力向上推進事業において、全市的な共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」を位置付けた授業が浸透するとともに、家庭学習に1時間以上取り組んでいると回答する生徒が増加してきている。</p> <p>(1)国語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の平均正答率では、「話すこと・聞くこと」の全国比が113であり、「書くこと」領域(108)、「読むこと」領域(102)及び「伝統的な言語文化と国語の特質」領域(112)でも全国平均を上回っているが、目標値を達成していない。 ・「読むこと」領域の「説明的な文章を読むこと」、「語句や表現技法についての理解」において、全国平均を下回っている。 <p>(2)数学</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「数と式」領域の全国比が112であり、「図形」領域(103)及び「資料の活用」領域(109)でも全国平均を上回っているが、目標値を達成していない。 ・「関数」領域の全国比が94で、全国平均を下回っている。 <p>(3)英語</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数研式全国標準学力検査(NRT)の結果において、全国平均より高い水準であった。各領域の正答率では、「書くこと」領域の全国比が110であり、「聞くこと」領域(104)、「話すこと」領域(105)及び「読むこと」領域(107)でも全国平均を上回り、目標値を達成している。 ・「話すこと」領域の「テーマに沿ってスピーチする」、「読むこと」領域の「英文を正しく読み取る」において、全国平均を下回っている。

今 後 の 方 向 性
<p>○学力</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業における、全市的共通取組内容である「見通しをもつ活動」「考え、学び合う活動」「振り返る活動」の学習活動を通して、子どもたちが学んだことを自覚し、達成感や有用感をもつことができるようにする。 ・「各種学力調査における誤答や無回答の要因を分析し、指導に生かすこと」、「『確かな学力育成プラン』の年度をまたいだ共有」を通して、指導改善のCAPDサイクルを機能させる。 ・各学校の改善に向けた取組事例を共有しながら、児童生徒の学力向上を図る。 ・家庭学習について量的な改善が図られてきているため、質的な改善を図るとともに、主体的に取り組む児童を育成する。 <p>1 小学校4年生における授業改善</p> <p>(1)国語 言葉に着目しながら「考えを深める学び合い」</p> <p>(2)算数 学習内容を関連させながら「考えを深める学び合い」</p> <p>2 中学校2年生における授業改善</p> <p>(1)国語 文章を目的に読みながら「考えを深める学び合い」</p> <p>(2)数学 数学的に表現し伝え合いながら「考えを深める学び合い」</p> <p>(3)英語 領域を関連させながら「考えを深める学び合い」</p>

小 施 策		成果点・問題点
(17-1)	(小中学校教育の充実)	<p>○体力運動能力</p> <p>1 小学校5年生 体育の授業や休み時間等での運動量確保や、盛岡市とスポーツ協会と協力しSAQTトレーニングの取組によって改善が図られている。 正しい姿勢で歩いたり走ったりできる児童が減少してきている。 登下校時の保護者による送り迎えが増えている。</p> <p>(1)男子 ・筋力(握力)が全国標準値を上回っている。 ・全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られてきているが、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。</p> <p>(女子) ・筋力(握力)、敏捷性(反復横とび)、瞬発力(立ち幅跳び)が全国標準値を上回っている。 ・全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。</p> <p>2 中学校2年生 体育の授業での運動量確保や、部活動での運動量確保と休養のバランスがとれたことなどによって基礎体力の強化が図られてきている。 盛岡市の全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)の値が上がってきている現状であるが、全国基準値も上がってきている。 運動に対して、正しく身体を動かすことができない生徒が多い。</p> <p>(男子) ・投力(ハンドボール投げ)が全国標準値を上回っている。 ・全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。</p> <p>(女子) ・筋力(握力)、筋持久力(上体そらし)、柔軟性(長座体前屈)は、全国標準値を上回っている。 ・全身持久力(20mシャトルラン)とスピード(50m走)は、改善が図られているが、全国との比較において低い結果となっており、目標値を達成していない。</p>
17-2	幼稚園教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の満足度は向上しているが、各幼稚園では、園児の減少に伴い集団が小規模となり、人間関係の固定化や体験できる遊びの限定、集団生活を通して社会性をほぐむことが難しい状況が生じている。 ・また、子育て支援として保護者のニーズに対応した保育サービスの充実が求められているが、運営効率の面から取組拡大は困難である。
17-3	高等学校教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・進路指導が充実し、希望する進学・就職の目標達成率が向上している。 ・社会的・職業的に自立し、社会の担い手となる人材の育成に向けた教育の充実が求められるとともに、特別進学コースの安定的な国公立大学等への合格率を維持することが必要である。
17-4	教職員研修の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策として、各講座に定員(会場定員の1/2)を設けて開催し、全講座の定員245人を上回る、386人の参加希望者があり、全ての講座で参加者を抽選で決定し開催した。 ・参加者アンケートでは、講義だけでなく、協議や演習、実技、見学等の工夫により、研修の充実が図られているとの指摘が見られ、満足度(4段階評価:3.85)の向上が図られた。 ・夏期休業中の開催では、県教委の教育課程説明会や授業力向上研修、中学校の運動部の東北大会、高校体験入学等が重なることが予想され、開催期日については、工夫する必要がある。
17-5	学校施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> ・新たな2校の大規模改修に着手し、既に着手している事業に係る工事及び実施設計を実施することができた。 ・学校を含む公共施設について、限られた財源を効果的に活用し、計画的な保全の実施と施設の長寿命化を図り、次世代に大きな負担を強いることなく、「公共施設の保有の最適化」を推進し、持続可能な市民サービスの提供を目指す必要がある。

今後の方向性
<p>○体力運動能力</p> <p>1 小学校 ・徒歩の登下校を呼びかけや日常的な外遊びを働きかける等、60運動とも関連させながら、基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・各学校の改善に向けた取組事例を共有しながら、児童生徒の学力向上を図る。 ・「走る」に特化した研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用)</p> <p>2 中学校 ・小学校に引き続き、60運動に取り組むとともに、「走る」に特化しながら、体力の向上を図っていく。 ・体育の授業や、部活動を通して、ウォーミングアップの重要性を理解させ、正しい身体の使い方を習得させることで、基礎体力の向上を図っていく。 ・体力向上に向けた指導方法や実践を研究発表会や公開講座で広めることにより、各学校に浸透させながら体力向上を図っていく。 ・各学校の改善に向けた取組事例を共有しながら、児童生徒の学力向上を図る。 ・「走る」に特化した研究員研究を行い、研究発表会で発表を行う。 ・体育の授業等で取り組むウォーミングアップを浸透させながら体力向上を図っていく。(ウォーミングアップDVDの活用)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・幼児理解に基づく個の特性に応じた教育活動の充実や保護者への積極的な情報発信、小学校教育との円滑な接続を図る幼児教育を提供する。 ・市立幼稚園各園の今後の在り方については、保護者や地域住民の意見も含め検討する。
<ul style="list-style-type: none"> ・「総合的な探究の時間」等を通して、キャリア教育を充実させ、社会的・職業的自立に向けた総合生活力と人生設計力を育成する。 ・教職大学院等との連携を通して、生徒が意欲を高め、主体的に活動する授業づくり及び対話による授業展開についての研修を実施し、生徒の意欲が引き出される授業の改善へとつなげる。
<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、令和3年度も各講座に定員(全講座定員445人)を設け、感染症対策を徹底して開催する。 ・従来の講座に加えて、今日的課題、教員のニーズを踏まえ、「ICT活用」「コミュニティ・スクール」「生徒指導(いじめ)」「教育相談(LGBT)に係る講座を新設し開催する。 ・講座の内容に応じて、各学校の効果的な実践事例を取り上げ、2学期からの教育活動の充実を図る。 ・岩手県立総合教育センターが開催する、授業力改善研修、教育課程説明会や学校行事等の開催期日等について確認しながら開催する。
<ul style="list-style-type: none"> ・「長寿命化工事実施マニュアル」に基づき、事業費の精査を行い、限られた財源を効果的に活用することにより、将来にわたって様々なニーズに対応できる施設整備に努めていく。 ・「盛岡市公共施設保有最適化・長寿命化中期計画」と整合を図りつつ、施設の複合化が円滑に進むよう関係団体、関係部署等と緊密な調整を進めていく。 ・学校プールの老朽化への対応として、大規模改修の他に、学校プールの共用化、水泳授業の民間委託及び市営プールの使用等について検討を進める。

【施策評価(令和2年度実績評価)】

施策の総合計画における位置付け

基本目標	3	人を育み未来につなぐまちづくり
施策	18	生涯学習の推進
施策主管部等	教育委員会	
評価責任者	岡市 和敏 教育部長	
評価シート作成者	川原 善弘 教育次長	

「施策の目的」と「施策評価全体を踏まえた評価責任者意見」

施策の目的(総合計画実施計画から転記)	施策評価全体を踏まえた評価責任者意見
誰もが楽しみや生きがいを持ち、豊かに暮らすことができるように、いつでもどこでも学ぶことができる環境の構築を図る。	市民の生涯学習を支援するため、市民ニーズを捉え、多様な講座等の開催に努めているところであるが、受講者の年代や性別に偏りがあるほか、多様化するライフスタイルにも幅広く学習機会に接することができるよう、更なる創意工夫、改善が必要と考えている。 また、社会教育施設の老朽化が進んでおり、市民が安全・安心に利用できることに加え、利便性の高い施設となるよう修繕・改修・整備を計画的に実施していく必要がある。 今後も、市民の学習意欲を高め期待に応えられるよう、ソフト・ハード両面から、生涯学習推進のための環境づくりに努める必要がある。

施策の概要

主な取組内容
公民館等では、市民ニーズを把握するとともに、コロナ禍におけるリスク評価を行い、感染防止対策を講じながら、家庭教育支援・青少年教育・成人教育・高齢者教育・芸術文化活動・生涯学習推進・地域連携など、幅広いテーマで学習機会の提供に努めた。 また、中央公民館企画展示室の大規模改修工事、中央公民館に隣接する駐車場用地の取得、浜民公民館・浜民図書館の長寿命化修繕(20年目)に取り組むなど、市民の良好な学習環境の整備に努めた。

対象(誰(何)を対象として行うのか)	意図(対象をどのようにしたいのか)
市民	意欲的に学習活動に取り組む。
社会教育施設	計画的な整備や修繕により良好な環境が保たれる。

施策の成果指標の状況・評価

実績値の推移				進捗の評価	
指標①	単 位	目指す方向			
まちづくり評価アンケート調査「この1年間に何らかの学習をした」と答えた市民の割合	%	↗	△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)		
当初値(H25) 40.6	R1目標値 43.9	R6目標値 47.2	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大に伴う市民の活動自粛や、ライフスタイルの多様化、情報通信機器の発達等により、生涯学習に対する市民意識が変化していることが社会的背景として考えられる。 社会教育施設における学習講座は、多くの参加が期待できる市民が学びたいテーマだけでなく、防災や環境など社会の変化に応じて学んでほしいテーマとのバランスを図りながら実施する必要があること、また、学習活動の機会や時間の確保が難しい働き世代の講座参加者数が少ない状況にあることを踏まえ、講座の開催日時や内容について、さらに見直しを図っていく必要がある。 		
指標②				進捗の評価	
当初値(H25)				R1目標値	
				R6目標値	

進捗の評価(3段階): ◎ 非常に順調に進捗している(令和元年度目標値を達成しており、令和6年度目標値も達成見込み)、○ 順調に進捗している(令和元年度目標値には達していないが、それに近い水準まで達しており、令和6年度目標値は達成見込み)、△ 遅れが生じている(令和元年度目標値は未達であり、令和6年度の目標値達成にもかなりの努力を要する)

小施策評価を踏まえた「成果点・問題点」と「今後の方向性」

小 施 策	成果点・問題点	今後の方向性
18-1 社会教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学びの循環推進事業では、多彩な講座メニューを用意し、市民の継続的な学習活動に活用されているが、大学教員を講師として派遣する「専門コース」の活用が少ないほか、防災や環境など社会的な課題をテーマとする講座への講師派遣が減少している。 家庭教育支援や青年教育など社会教育事業の提供により、市民の学習機会の充実が図られるとともに、新成人のリーダーが育成されている。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座等の開催に当たり、大学との連携強化を図るほか、社会教育に関する事業の効果的な周知方法を検討する。 家庭教育支援や青年教育など社会教育に係る学習機会の充実と団体の育成支援を継続する。
18-2 社会教育施設の整備・充実	<ul style="list-style-type: none"> 多様な講座の開催に努めたが、講座により参加者数に偏りがあるほか、勤労青年層の参加が少ない。 中央公民館企画展示室の大規模改修工事、中央公民館に隣接する駐車場用地の取得、浜民公民館・浜民図書館の長寿命化修繕(20年目)などに取り組んだが、引き続き、老朽化の進む社会教育施設の計画的な改修、及び新たな施設整備を進める必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 各種講座等の開催に当たり、大学との連携強化を図るほか、市民ニーズの把握に努め、学習テーマのバランスを図りながら、魅力ある講座を実施する。 老朽化した社会教育施設の計画的な改修、及び「公共施設保有の最適化と長寿命化のための基本方針」との整合を図りながら、市民ニーズに対応した新たな施設整備を推進する。